

日々暑さが増していく中、体調管理が難しい季節になってきました。今回の ICT 通信では、今年度の活動の一部を紹介したいと思います。

当院 ICT では今年度新しいメンバーも加わり、ICT メンバーの知識の向上を図るべく ICT 内での学習会を企画することになりました。

5月には手指衛生をテーマに行いました。

「手指衛生なんて今更言われなくてもできてるよ」と思う方もいるかもしれませんが、確かに簡単なことです、しかし、時間がたつと忙しくてついつい雑になってしまったりすることはありませんか？

手指衛生については多くの施設で取り組みがなされていることと思います、一時は ICT の介入により実施率は高まりますが、不思議なことに時間の経過とともに実施率も徐々に低下してしまうのです。その原因として「慣れ」「忙しさ」ということがあげられるのではないのでしょうか？簡単なことかもしれませんが、定期的に、それこそしつこいくらいに行って、初めて高い実施率を保つことができるのです。

感染対策の世界では、ノロウィルスが強力になった、新たな耐性菌ができたなど多くのことが注目されていますが、実際に行わなければならない感染対策は今までとほとんど変わりません、今もこれからも手指衛生が感染対策において重要であることに変わりはないと思います。

今年度は、防護用具の使用・嘔吐物の処理方法などについても行っていく予定です。ICT メンバーがしっかりとした知識を持ちスタッフに指導できるようにしていきたいと考えています。



担当：天野嘉則（看護師）